

健康案内

検診

健康課(〒194-0001 3、原町田5-8-21、健康福祉会館内、☎7255-5178)

肺がん・胃がん検診

【肺がん検診】

対象 市内在住で1年以内に肺がん検診を受けたことのない40歳以上の方

妊婦している方及び疑いのある方は受診できません

日時 12月19日(水)午前9時～正午

会場 健康福祉会館 検診内容 問診 胸部レントゲン撮影 かかたん検査



(町田市医師会)

少子高齢化により、医療費が高騰しています。予防接種については2001年から高齢者に対して、公費予防接種が実施できるかどうか、間に合えば、予防接種法に基づいた対応です。インフルエンザに罹って薬で治療するのではなく、薬にたよらない方法が予防接種です。接種を受けた方が良い方とか、脳炎、脳症とワクチン接種との関係、インフルエンザ感染で解熱剤投与の問題などまだ解決され

ごみダイエット!

vol. 6

缶のゆくえ

町田市の缶の回収・選別は、町田市資源協同組合へ委託し、ビンと同時に週に1回、青色のプラスチックケースで回収しています。昨年度は1795トンが集められました。これは、350ミリリットル缶に換算すると市民1人あたり192缶分に相当する量です。

下小山田町にある施設に集められた缶は、異物を手選別で除

いた後、磁気を利用した選別機でアルミ缶とスチール缶に選別されます。分けられた缶はプレス機でつぶして約70cm×40cm×15cm(アミ缶で約13kg、スチール缶で約30kgの固まり)に20トントラック1台分が貯まると業者へ1kgあたりアルミ缶は80円、スチール缶は0.5円で売却されています。アルミ缶を扱

つある業者では、炉で溶解して約1トンの固まりにした後、製缶業者に送り、アルミ缶に再生



アルミ製のふたは缶の中に入れてはいけない!

しています。スチール缶を扱うある業者では、炉で溶解し、ステンレス(鉄・ニッケル・クロム)の合金)の材料に利用して

います。この工場つくられたステンレス板は流し色や鍋などのメーカーに送られ、ステンレス製品に生まれ変わります。また、別の業者では他の鉄酸材と一緒に炉で溶解し、建設用の鉄筋に生まれ変わります。

容器がスチールであっても、ふたはアルミです。そのため、機械で処理する前に手作業で抜き取って、缶とは別に処理していただきます。アルミ製のふたは缶の中に入れては別々に別々に出して下さい。

をばらばらに選ぼう! ビールビンや1升ビンは回収率の高い、リターナブルビンの代表選手です。環境のことを考えるとリターナブルビンは、もとよ、やさしい、製品といえます。最近では酒屋さんの配達ではなく、多分買った持ち帰るのとかが多くなったため、重いビリンに入った製品は敬遠されがちですが、日常生活では、使い捨て容器ではなくリターナブルビンをできるだけ選ぶように心がけましょう。

0530)までご連絡下さい。ごみ減量講演会 『生ごみたい肥のつくり方』をテーマに、生ごみたい肥化容器などを利用した家庭での実践についての講演会です。直接会場へお越し下さい。日時 11月10日(土)午前10時～正午

定員 80人(抽選) 費用 12000円

【胃がん検診】

対象 市内在住で1年以内に胃がん検診を受けたことのない35歳以上の方

日時 12月17日(月)、18日(火)

会場 健康福祉会館 検診内容 問診 レントゲン撮影(バリウムを飲みます) 定員 各日55人(抽選) 費用 8000円

①胃の手術を受けた方②胃及び十二指腸の病気が現在治療中または経過観察中の方③妊娠している方及び疑いのある方は受診できません

を要する方を列記しました。(1)65歳以上の方(2)年齢に關係なく慢性疾患の方または長期療養している方(3)年齢を問わず肺または血管に病変のある方(例えは成人及び小児の喘息の方)(4)常に病院に行く方(5)長期にアスピリン治療している方等です。次にインフルエンザに感染し移す可能性の高い方、病院で療養施設で、ボラケアや肺炎で、ケアサービスで生活している方、寮な

どで共同生活している方、特に熱帯地域では年中インフルエンザに罹ることがあります。以上インフルエンザワクチン接種を推奨したい方です。

毎年接種の相談を受けます

が、接種の副作用を心配する方が多数で、罹った時の心配をする方のほうが少ないです。最近

はインフルエンザワクチンの接種は、一般市民小児、高齢者(にも希望者が多くありました)

ワクチンが少なく、希望者全てに予防できない事がありました

が、予防対策に絶対が必要ですが、今年も各メーカーにお願いしてワクチンも供給されるとおもいますが、一度、かかりつけ医に相談して、予約なさるのが確実

かもしれません

インフルエンザ予防接種

を要する方を列記しました。

(1)65歳以上の方(2)年齢に關係なく慢性疾患の方または長期療養している方(3)年齢を問わず肺または血管に病変のある方(例えは成人及び小児の喘息の方)(4)常に病院に行く方(5)長期にアスピリン治療している方等です。次にインフルエンザに感染し移す可能性の高い方、病院で療養施設で、ボラケアや肺炎で、ケアサービスで生活している方、寮な

どで共同生活している方、特に熱帯地域では年中インフルエンザに罹ることがあります。以上インフルエンザワクチン接種を推奨したい方です。

毎年接種の相談を受けます

が、接種の副作用を心配する方が多数で、罹った時の心配をする方のほうが少ないです。最近

はインフルエンザワクチンの接種は、一般市民小児、高齢者(にも希望者が多くありました)

ワクチンが少なく、希望者全てに予防できない事がありました

が、予防対策に絶対が必要ですが、今年も各メーカーにお願いしてワクチンも供給されるとおもいますが、一度、かかりつけ医に相談して、予約なさるのが確実

かもしれません

申し込み 八ガキ(1人1枚)に、肺がん検診申し込みまたは「胃がん検診申し込み」と書き住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別・電話番号・健康手帳の有無・胃がん検診は希望日(第2希望日)を明記し、11月8日まで(消印有効)に健康課へ。

【非拒否者について】 次の方は無料となります。①医療証をお持ちの方 ②老人医療受給者証をお持ちの方

2001年度の市民税非課税世帯の方

生活保護受給世帯の方

生計保護受給世帯の方

受診できる方に郵送される受診票(当日負担・非負担の届け出をして下さい)。

成人歯科健康診査

歯の健康の保持を目的として健診を実施しています。

対象 健診日に40・45・50・55歳の方

健診内容 問診、歯周疾患等の診査、予防指導

費用 4000円

健康づくり

幼児食講習会

健康課 ☎7255-5422

対象 平成11年12月～平成12年6月生まれの子保護者

日時 12月7日(金)午前9時～正午

会場 健康福祉会館2階

内容 幼児食のお話、試食、グループ相談など

定員 25組(申し込み順)

きょうだいの方は参加できません。また、一度参加された方はご遠慮下さい。

持ち物 母子手帳、飲み物、手拭き

申し込み 電話で健康課へ。

健康づくり

市民健康づくり

【骨の働きと骨粗しょう症について】

骨の基本的な働き、骨粗しょう症の予防等について学びます。

日時 11月17日(土)午後1時～3時

会場 健康福祉会館

講師 近藤整形外科医師・近藤泰氏

定員 250人(申し込み順)

申し込み 電話で健康課へ。

申し込み 協力歯科医院に直接お申し込み下さい。

健康手帳をお持ちの方はご持参下さい。

【非負担者について】 次の方は無料となります。2001年度の市民税非課税世帯の方

生活保護受給世帯の方

生計保護受給世帯の方

受診できる方に郵送される受診票(当日負担・非負担の届け出をして下さい)。

成人歯科健康診査

歯の健康の保持を目的として健診を実施しています。

対象 健診日に40・45・50・55歳の方

健診内容 問診、歯周疾患等の診査、予防指導

費用 4000円

健康づくり

市民健康づくり

【骨の働きと骨粗しょう症について】

骨の基本的な働き、骨粗しょう症の予防等について学びます。

日時 11月17日(土)午後1時～3時

会場 健康福祉会館

講師 近藤整形外科医師・近藤泰氏

定員 250人(申し込み順)

申し込み 電話で健康課へ。

健康づくり

市民健康づくり

【骨の働きと骨粗しょう症について】

骨の基本的な働き、骨粗しょう症の予防等について学びます。

日時 11月17日(土)午後1時～3時

会場 健康福祉会館

講師 近藤整形外科医師・近藤泰氏

定員 250人(申し込み順)

申し込み 電話で健康課へ。

第二病院精神神経部長・中村敬氏

講演会終了後、相談をお受けします。

【展示会・相談コーナー】

日時 11月28日(水)～29日(木)

午前10時～午後4時

会場 市役所1階市民フロア

【同社活字講座】

日時 11月21日(水)午後1時～3時

会場 健康福祉会館

担当 歯科医師 織田純太郎氏

定員 6人(申し込み順)

申し込み 11月22日午前8時30分～

会場 健康福祉会館

相談時間は1人につき10分程度です。

精神保健福祉週間(11月27日～29日)

直接会場へお越し下さい。

【講演会】

日時 11月27日(火)午後2時～3時30分(午後1時30分開場)

会場 すみれ会館3階第1会議室

講師 近藤整形外科医師・近藤泰氏

定員 250人(申し込み順)

申し込み 電話で健康課へ。